



(題字 時澤 貢 学長)

第420号
(平成11年12月号)

12月のトピックス

◇大学間連携の第一歩として、富山医科薬科大学及び富山県立大学との大学院間単位互換協定を締結◇



▲協定書を取り交わし握手 (左から高久富山医科薬科大学長、時澤学長
川端富山県立大学長 (12月14日 事務局中会議室))

目 次

関係法令	3	◆ 原田康夫広島大学長を講師に迎えて特別講演会を開催	9
諸 会 議	3	◆ 学生の就職活動を支援するため各種就職ガイダンスを開催	9
学 事		◆ 交通安全講習及び自衛消防訓練を実施－教育学部－	10
◆ 富山医科薬科大学及び富山県立大学との大学院間単位互換協定を締結	4	◆ 富山県教育委員会との連絡協議会を開催並びに「心と教育の相談室」の表札を上掲－教育学部－	10
◆ 学位取得者	5	◆ 海外渡航者	11
◆ 平成11年度科学研究費補助金交付決定者一覧	5		
人 事 異 動	6	職 員 消 息	
		◆ 住所変更	12
学 内 諸 報		◆ 新任者住所	12
◆ 五福キャンパスの構内一斉清掃を実施	7	◆ 改 姓	12
◆ 平成11年度生涯生活設計セミナーを開催	7	◆ 訃 報	12
◆ 外国人研究者及び留学生等との懇談会を開催	8	主 要 行 事	13
◆ バージニア大学工学・応用科学部と学術交流協定を締結－工学部－	8	資 料	
		◆ 学位（博士）授与者名簿	15



▲工学部と学部間学術交流協定を締結した
バージニア大学のキャンパス（12月8日撮影）

関 係 法 令

(法 律)

- 中央省庁改革関係法施行法（160）（平成11.12.22 官報号外第251号）
- 独立行政法人大学入試センター法（166）（同上）
- 独立行政法人国立少年自然の家法（170）（同上）
- 独立行政法人水産大学校法（191）（同上）
- 独立行政法人航空大学校法（215）（同上）
- 独立行政法人の業務実施の円滑化等のための関係法律の整備等に関する法律（220）（同上）
- 国と民間企業との間の人事交流に関する法律（224）（平成11.12.22 官報号外第252号）

(政 令)

- 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令（398）（平成11.12.10 官報号

外第241号）

- 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整理等に関する政令（408）（平成11.12.22 官報号外252号）

(規 則)

- 人事院規則1-0（規則の法的根拠）の一部を改正する人事院規則（人事院1-0-1）（平成11.12.22 官報号外第252号）
- 交流審査会（同2-11）（同上）
- 国と民間企業との間の人事交流（同21-0）（同上）
- 人事院規則17-0（管理職員等の範囲）の一部を改正する人事院規則（同17-0-1）（平成11.12.24 官報第2777号）

諸 会 議

第12回評議会（臨時）（12月3日）

（審議事項）

- (1) 富山大学の基本目標の項目立てについて
- (2) その他

第3回大学開放事業（夢大学 in TOYAMA' 99）実施調整委員会（12月10日）

（審議事項）

- (1) 平成11年度夢大学 in TOYAMA' 99の実施結果について
- (2) 平成12年度夢大学 in TOYAMAの実施計画について
- (3) その他

第15回将来計画委員会（12月13日）

（審議事項）

- (1) 本学の将来構想・特色について
- (2) その他

第120回構内交通対策委員会（12月13日）（審議事項）

- (1) 入構許可証の発行について
- (2) その他

第7回事務協議会（12月14日）

（議 題）

当面の諸課題について

第6回教養教育委員会（12月15日）

（審議事項）

- (1) 教養教育担当教員の配置に関する申し合わせについて
- (2) 将来計画委員会 中間まとめ（教養教育）に係る検討の進め方について
- (3) その他

第5回学生生活協議会（12月16日）

（審議事項）

- (1) 平成12年度入学生行事日程（案）について

- (2) 第45回（平成12年度）大学祭実施に伴う休業日（案）について
- (3) 平成12年度入学試験合格者へのダイレクトメールについて
- (4) その他

第3回部局長会議（12月17日）

（議 題）

- (1) 学長主催による外国人研究者及び留学生との懇談会の実施結果について
- (2) 富山医科薬科大学附属図書館との相互利用の推進について
- (3) 五福地区構内一斉清掃の実施結果について
- (4) 平成12年度政府予算編成日程について

- (5) 富山大学の将来構想・特色について
- (6) コンピュータの2000年問題について
- (7) その他

第13回評議会（12月17日）

（審議事項）

- (1) 富山大学附属図書館長候補者の選考について
- (2) その他

第3回年史編纂委員会（12月22日）

（審議事項）

- (1) 年史の執筆状況について
- (2) 年史編纂の今後の進め方について



富山医科薬科大学及び富山県立大学との大学院間単位互換協定を締結

本学では、12月14日事務局中会議室において、富山医科薬科大学及び富山県立大学との3大学大学院間における単位互換に関する協定の調印式を挙りました。

式では、時澤学長から「21世紀に向け大学が連携し学問領域を広げることで、学生の教育や新しい研究分野の誕生に役立てたい」旨挨拶があり、次いで、高久富山医科薬科大学学長から「個性あふれる大学にするための第一歩」、川端富山県立大学学長から「今後は学部まで広げた連携を目指したい」との挨拶がありました。引き続き、各学長が協定書に、各研究科長が協議書にそれぞれ署名した後、協定書の取り交わしが行われ、滞りなく式を終了しました。

この協定に基づき、平成12年4月から、本学大学院理工学研究科10専攻、富山医科薬科大学大学院薬学研究科1専攻及び富山県立大学大学院理工学研究科3専攻の3研究科14専攻間において、相互に学生を受け入れ、所定の

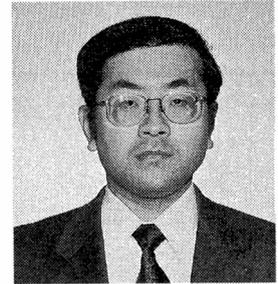
授業科目が履修できるようになりました。3大学大学院修士課程の学生交流が進展することで、本学の教育研究がより活性化することが期待されます。



▲協定書に署名する時澤学長（中央）、高久富山医科薬科大学学長（左）、川端富山県立大学学長（右）

学 位 取 得 者

所属・職・氏名 理学部 助 手 菊池 万里
 学位の種類 博士(情報科学)(東北大学)
 取得年月 平成11年11月11日
 学位論文名 Analytic studies of Banach function spaces and martingales
 (バナッハ関数空間とマルチンゲールに関する解析学的研究)



論文の要旨 マルチンゲールは、公平なゲームやブラウン運動などの数学的モデルである。本論文では、マルチンゲールと、 L^p -空間、Orlicz空間、Lorentz空間などの一般化であるバナッハ関数空間との関連をテーマとし、主に次にあげる結果を得た。

- バナッハ関数空間における増加確率過程のための不等式、及びマルチンゲール不等式を確立した。更に、得られた不等式は、実解析学においてよく知られたBoyd - Shimogakiの定理と同値であることを証明した。
- バナッハ関数空間 X において、フィルトレーションに依存することなくDoob型マルチンゲール不等式が成立すれば、 X は再配分不変性を持つことを証明した。これにより、再配分不変空間の新しい特徴づけを得た。
- ある種の一様可積分なマルチンゲールがノルム収束するような、バナッハ関数空間の特徴づけを与えた。
- バナッハ関数空間を用いて、マルチンゲールのハーディ空間を定義し、その空間の双対空間の表現定理を確立した。

平成11年度科学研究費補助金交付決定者一覧

研究種目	研究代表者			研究課題	交付決定額	配分予定額		
	所属	職	氏名		平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
基盤研究(C)(2)	理学部	助教授	栗本 猛	B中間子物理とニュートリノ物理による新素粒子模型の探求	千円 1,900	千円 500	千円 300	千円 500
〃	理学部	教授	金森 寛	ホヤによるバナジウム還元・濃縮機構の化学的研究	2,300	700	0	0
奨励研究(A)	理学部	助教授	藤 浩明	海底電磁気観測で探る西九州プリューム・テクトニクス	1,100	1,100	0	0

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
昇 任	12. 1. 1	矢 後 和 子	庶務部庶務課専門職員	庶務部人事課課長補佐
	〃	真 田 敏 江	附属図書館情報管理課総務主任	庶務部庶務課専門職員（企画調整担当）
	〃	高 尾 京 子	附属図書館情報サービス課	附属図書館情報サービス課 参考調査係参考調査主任
	〃	前 川 要	助教授 人文学部（国際文化学科文化環境論）	教 授 人文学部（国際文化学科文化環境論）
配 置 換	12. 1. 1	前 田 邦 樹	庶務部人事課課長補佐	庶務部庶務課課長補佐
休 職	11. 12. 16	松 井 博 文	庶務部企画室企画係庶務主任	休 職（～12. 2. 29）
辞 職	11. 12. 31	涌 井 三 枝 子	庶務部庶務課課長補佐	辞 職
退 職	11. 12. 22	松 井 輝 代	臨時用務員（教育学部炊婦）	平成11年12月21日限り退職
	〃	堰 免 芳 子	〃（ 〃 ）	〃
	〃	仲 谷 千 鶴 子	〃（ 〃 ）	〃
	11. 12. 25	近 藤 俊 彦	事務補佐員（附属図書館情報サービス課）	平成11年12月24日限り退職
	〃	高 山 恭 一	〃（ 〃 ）	〃
	〃	稲 葉 智 裕	〃（ 〃 ）	〃
	〃	甲 斐 英 高	〃（ 〃 ）	〃
	〃	中 根 一 剛	〃（ 〃 ）	〃
	〃	加 藤 奏	〃（ 〃 ）	〃
	〃	本 江 隆 典	〃（ 〃 ）	〃
	〃	望 月 昇	〃（ 〃 ）	〃
	11. 12. 29	柳 瀬 珠 美	事務補佐員（附属図書館情報管理課）	平成11年12月28日限り退職
職務命令	12. 1. 1	矢 後 和 子	庶務部庶務課専門職員	企画調整担当を免ずる

学 内 諸 報

五福キャンパスの一斉清掃を実施－291名の教職員・学生が参加－

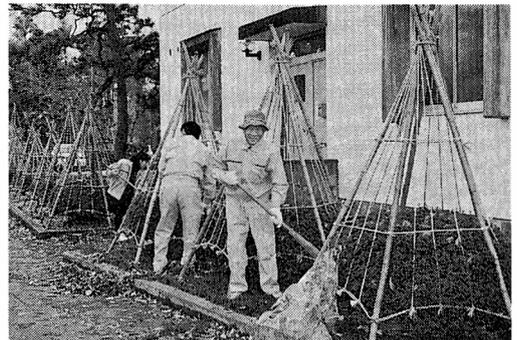
本学では、「教育研究の場にふさわしい学園環境の維持」を目的として、毎年2回五福キャンパスの一斉清掃を実施しています。今年度第2回目の一斉清掃は、12月1日から7日までの間で、各部局ごとに適宜1日をあてて実施され、時澤学長をはじめ総勢291人の教職員・学

生が参加しました。

本部及び各部局では、定められた時間帯に教職員・学生が参集し、担当区域の落ち葉、空缶及び吸殻等のゴミ収集と溝の清掃などを行い、心地よい汗を流していました。



▲ 事務局前で挨拶する時澤学長（左端）／率先遂行の時澤学長（中央）



平成11年度生涯生活設計（退職準備）セミナーを開催

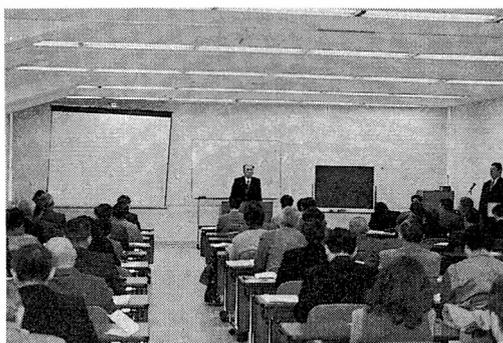
去る12月3日、本学主催により平成11年度生涯生活設計（退職準備）セミナーが開催されました。

このセミナーは、近年の高齢化社会の急速な進行の中、県内各国立学校等に在職する中・高齢の教職員に対して経済面並びに健康等に関する知識を付与し、今後の生涯生活設計を支援するため開催されたもので、会場となった黒田講堂には83名の教職員が出席しました。

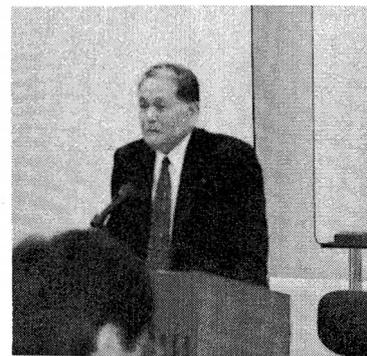
セミナーでは、はじめに水上事務局長から開会の挨拶があり、引き続き午前の部として、「退職後の生活設計について」（講師 新澤憲生 教職員生涯福祉財団企画・

出版部長）、「余暇の活用について」（講師 大石 昂 生涯学習教育研究センター教授）の二つの講演がありました。

午後の部では、「健康管理面について」（講師 寺澤捷年 富山医科薬科大学医学部長）、「介護保険制度について」（講師 佐近成昭 富山市介護保険課主幹）、「金融自由化の中での資産運用について」（講師 鴨井克之 北陸銀行営業渉外部推進役）の3つの講演があり、出席した職員は要点をメモするなど熱心に聴講していました。



▲ 開会の挨拶をする水上事務局長



▲ 講演中の新澤憲生
（財）教職員生涯福祉財団部長

「外国人研究者及び留学生等との懇談会」を開催

—350人が国際交流の進展を願い、和やかに懇談—

去る12月8日、「学長主催による外国人研究者及び留学生等との懇談会」が市内の名鉄トヤマホテルにおいて開催されました。

会場には、時澤学長はじめ能登谷学生部長、塩澤留学生センター長、各部局長、国際交流委員会委員、各指導教官、留学生担当職員と本学に在籍する中国、マレーシア、ロシア、韓国など20ヶ国の外国人研究者、教員、留学生及び日頃留学生がお世話になっている日本語課外補講の講師、五福校下アパート組合関係者等約350名が出席しました。

懇談会は、はじめに時澤学長から、この懇談会を機会に教職員と留学生等がお互いの文化を理解し、国際交流

の一層の促進を図ってほしい旨挨拶があり、続いて廣岡理学部長の発声により乾杯し、懇談に入りました。

アトラクションでは、中国歌謡の合唱、台湾の歌と踊り、韓国歌謡の合唱、マレーシア歌謡などが披露され、留学生が母国の民族衣装をまとして多彩な歌や踊りを発表するたびに、会場は国際色豊かな華やいだ雰囲気盛り上がりしました。

終わりに、毎年恒例になっている学長を囲んでの合唱と参加者全員による踊りを行った後、能登谷学生部長から閉会挨拶があり、盛会のうちに終了しました。（関連写真を16ページに登載）

バージニア大学工学・応用科学部と学術交流協定を締結—工学部—

工学部では、12月8日にバージニア大学工学・応用科学部（アメリカ、バージニア州）と学部間学術交流協定を締結しました。

バージニア大学で行われた調印式には、宮下工学部長、松田健二教官、大場事務長補佐が出席、リチャード・ミクサド工学・応用科学部長と宮下工学部長がそれぞれ協定書に署名し、学術交流の発展を誓いあいました。

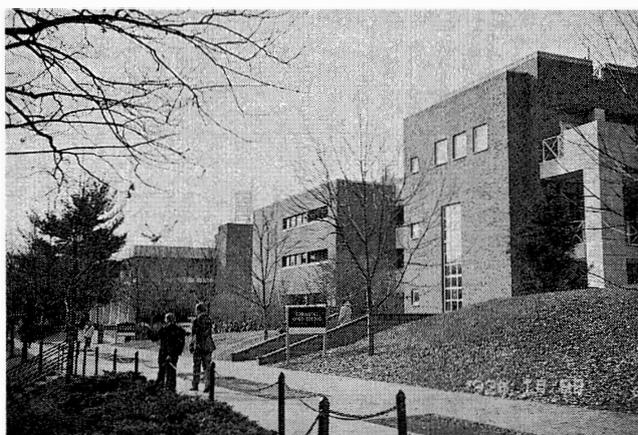
バージニア大学は、第3代アメリカ合衆国大統領のトーマス・ジェファソンにより1819年に設立され、現在9学部、約2,000人の教官と約18,500人の学生からなる州立総合大学です。1998年のUS News社による全米州立大学ランキングで1位にランクされるなど歴史的にも学術的にも高い実績を誇っています。

この協定締結により、今後、両学部間における学生の交換留学、教官の交流及び共同研究等が活発に行われることが期待されます。

この協定締結により、今後、両学部間における学生の交換留学、教官の交流及び共同研究等が活発に行われることが期待されます。



▲ 協定調印を終え握手する宮下工学部長（前列中央）とリチャード・ミクサド工学・応用科学部長（前列右）



▲ バージニア大学キャンパス

原田康夫広島大学長を講師に迎えて特別講演会を開催

教務委員会では大学教育の改善充実に資するため、12月8日原田康夫広島大学長を講師に迎え、黒田講堂において特別講演会を開催しました。

原田学長は、「広島大学の教育改革の現状と今後の改革について」と題して講演を行い、この中で学校教員養成系学部の統合整備や大学院重点化など広島大学の具体的な改革内容の説明がありました。また、学生の教育という観点から、国際化、高度情報化社会に対応できる人材を養成できない大学は、社会から評価されない。したがって今後、大学は外国語教育、情報教育に一層力を入れるべきとの見解が示されました。

講演会場には約130名の教職員が出席し、熱心に聴講しました。



▲ 講演中の原田康夫 広島大学長

学生の就職活動を支援するため各種就職ガイダンスを開催

本学では、学生の就職支援活動の一環として、10月下旬から各学部・学生部において各種の就職ガイダンスを開催しています。

このガイダンスは、平成9年度から就職協定が廃止されたことに伴い、企業の採用活動の早期化、長期化、あるいは採用方法の多様化等の動きに対応するため、就職希望学生に早く職業意識を持たせ、就職活動の進め方などを身につけさせることを目的に行われているものです。

今年は、全学対象のガイダンスとして、就職情報会社の講師による「自己分析と企業研究の進め方」など就職情報全般にわたるもの（11月17日）、「就職活動の心構えと面接対策」として面接に重点をおいたもの（12月1日）、人事院中部事務局の採用担当者による「国家公務員採用Ⅰ・Ⅱ種試験の概要や任用制度」（11月15日）を開催しました。また、官庁個別説明会として、関係機関の人事

担当者による「国税専門官、裁判所職員の採用試験」（12月6日）を開催しました。

最近になって、「ようやく景気にほの明るさが見えてきた」という報道がありましたが、本学学生の就職を取り巻く状況は、リストラなどの厳しい雇用情勢により大変厳しいものがあります。

このような情勢を反映し、各講演会・説明会には延べ約450人の学生が参加し、企業の求める人材像や就職環境、就職活動のポイントなどを聞き、身を引き締めて熱心にメモを取っていました。また、会の終了後には、学生が講師に質問する姿が度々見られ、時宜を得た効果的なガイダンスであったといえます。

なお、この後、1月下旬には教員・地方公務員の採用試験説明会を予定しています。



▲ 模擬面接（12月1日）



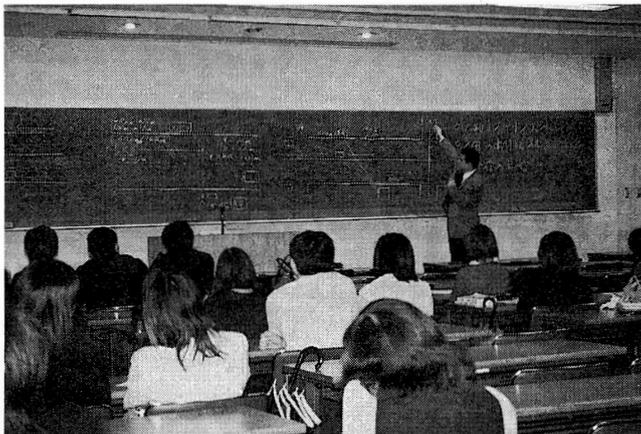
▲ 全学就職ガイダンス（11月17日）

交通安全講習及び自衛消防訓練を実施－教育学部－

教育学部では、12月15日、主に3年次及び4年次学生を対象とした交通安全講習会を開催しました。

講習では、富山警察署の担当官からビデオと資料により1時間にわたって実際に起きた交通事故の悲惨な現場の状況や事故原因の解説がありました。

また、富山県内の交通事故の特徴として、飲酒、暴走事故が多発していること、若者が当事者となる事故が多いこと、高齢者が被害者となる事故が多いことなどの説明があり、参加した約80人の学生は交通安全に対する意識を新たにしていました。



▲ 交通安全講習会の模様

さらに、12月20日には「火災はどんな状況で起こるか分からない」との判断のもと、自衛消防訓練を実施しました。

石油ストーブ等の暖房器具を使用する時期に当たり、消火器や屋内消火栓を使用した消火訓練を中心に実施し、その後、火災報知器が鳴動した際の対応について、説明会を行いました。

前日から雪の降り続ける悪天候でしたが、塚野学部長をはじめ、教職員並びに学生が多数参加し、初めて消火器を使用する女子学生もいるなど大変有意義な訓練となりました。



▲ 雪降る中で消火器を操作する学生達

富山県教育委員会との連絡協議会を開催並びに 「心と教育の相談室」の表札を上掲－教育学部－

教育学部では、12月22日、富山県教育委員会との連絡協議会を同学部大会議室で開催しました。県教育委員会からは、金井教育次長をはじめ県総合教育センター所長ら8名が、同学部から、塚野学部長をはじめ評議員ら8名が出席しました。

協議会では、学校教育相談実践業務に係る連携、現職教員の再教育、教育実習の実施及び教員採用等の諸課題について、活発な意見交換が行われ、最後に、地域の教育の発展と教育水準の向上等を図るため、相互の共通理解の下、密接に連携協力を推進することを確認しました。



▲ 連絡協議会の模様

また、同協議会終了後には、同学部附属教育実践研究指導センターに開設された「心と教育の相談室」の表札を、塚野学部長と金井教育次長の手により上掲しました。同相談室は、いじめ・不登校等の子どもだけでなく、親や教師の悩みに応じる窓口として開設されたもので、県内における学級崩壊問題などの解決に寄与することが期待されています。



▲ 表札を上掲する塚野教育学部長（右）と金井県教委教育次長（左）

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	工学部	助教授	西村克彦	オーストラリア	低温核偏極施設において共同研究	11. 12. 1 / 11. 12. 20
	理学部	助教授	栗本 猛	台 湾	第3回B物理とCPの破れ国際会議に出席，B中間子物理に関する研究打合せ	11. 12. 2 / 11. 12. 9
	理学部	教 授	竹内 章	台 湾	台湾集積地震による活断層上の土木構造物被害調査	11. 12. 4 / 11. 12. 6
	理学部	助教授	池田 榮雄	中 国	IMS Workshop on Reaction-Diffusion Systemsに出席，研究発表	11. 12. 5 / 11. 12. 12
	理学部	助教授	川村 隆一	アメリカ合衆国	アジア・オーストラリアモンsoon国際シンポジウムに出席，研究発表	11. 12. 5 / 11. 12. 9
	工学部	教 授	宮下 尚	アメリカ合衆国	バージニア大学との学術交流に関する協定の締結	11. 12. 6 / 11. 12. 13
	工学部	助 手	松田 健二	アメリカ合衆国	バージニア大学との学術交流に関する協定の締結	11. 12. 6 / 11. 12. 13
	工学部	事務長補佐	大場 克晃	アメリカ合衆国	バージニア大学との学術交流に関する協定の締結	11. 12. 6 / 11. 12. 13
	経済学部	助教授	澤井 啓	アメリカ合衆国	「国際商事仲裁の実態研究」に関する資料収集，研究打合せ	11. 12. 11 / 11. 12. 19
	理学部	教 授	川崎 一朗	アメリカ合衆国	地球自由振動によるコアの構造とダイナミクスに関する研究打合せ	11. 12. 12 / 11. 12. 19
	理学部	教 授	東川 和夫	大 韓 民 国	第4回韓国多変数国際集會に出席，研究発表	11. 12. 12 / 11. 12. 20
	理学部	教 授	竹内 章	アメリカ合衆国	アメリカ地球物理学連合1999年秋季大会に出席，研究発表	11. 12. 13 / 11. 12. 19

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	人文学部	助教授	呉 人 恵	ロシア連邦	コリヤーク語資料収集	11. 12. 20 } 12. 1. 14
	人文学部	教授	小 谷 仲 男	パキスタン	ガンダーラ美術に関する資料収集	11. 12. 23 } 12. 1. 7
	教育学部	助教授	橋 爪 和 夫	アメリカ合衆国	マラソン走行中の心拍数に関する研究	11. 12. 11 } 11. 12. 16
海外研修	教育学部	教授	山 地 啓 司	アメリカ合衆国	マラソン走行中の心拍数に関する研究	11. 12. 11 } 11. 12. 16
	理学部	助手	渡 邊 了	アメリカ合衆国	アメリカ地球物理学連合秋季大会 に出席, 研究発表	11. 12. 11 } 11. 12. 18

職 員 消 息

《住所変更》

部 局	職	氏 名
経済学部	助 教 授 (管理科学)	白 石 俊 輔
工学部	助 教 授 (通信システム工学)	堀 田 裕 弘
〃	事 務 補 佐 員 (エネルギー・環境工学)	吉 田 由 香 里

《新任者住所》

部 局	職	氏 名
工学部	助 教 授 (細胞物性工学)	山 口 昌 樹

《改 姓》

部 局	職	氏 名	旧 姓
工学部	事 務 補 佐 員 (エネルギー・環境工学)	吉 田 由 香 里	嶋

訃 報

12月に、名誉教授お一人がお亡くなりになりました。
 ここにご報告するとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



四谷 平治 氏
 (名誉教授)
 12月24日逝去
 享年81歳

主 要 行 事

本 部

- 12月1日 第3回セクシュアル・ハラスメント等対応委員会
第5回自己点検評価委員会教育活動専門委員会
五福地区構内一斉清掃
就職に関する講演会
- 2日 第1回水質保全センター運営委員会
平成11年度第2回全国就職指導ガイダンス
(名古屋大学)
- 3日 平成11年度生涯生活設計セミナー
第12回評議会(臨時)
平成12年度推薦入学, 帰国子女・社会人特別
選抜入学試験合格発表
- 6日 公務員採用試験に関する説明会
- 7日 第12回大学教育検討委員会
- 8日 特別講演会(教務委員会主催)
演題「広島大学の教育改革の現状と今後の
改革について」
講師 原田 康夫 広島大学長
学長主催による外国人研究者及び留学生との
懇談会(名鉄トヤマホテル)
- 9日 国立大学・高専課外活動担当課長等懇談会
(能登青年の家)
- 10日 第3回大学開放事業実施調整委員会
- 11日 体育会総会
- 13日 第120回構内交通対策委員会
第15回将来計画委員会
- 13~17日 人文学部推薦入学願書受付
- 14日 第8回事務協議会
富山医科薬科大学及び富山県立大学との単位
互換協定調印式
- 15日 第6回教養教育委員会
平成12年度大学入学者選抜大学入試センター
試験入試担当者連絡協議会(東京郵便貯金ホ
ール)
- 16日 第5回学生生活協議会
- 17日 第3回部局長会議
第13回評議会

- 20日 第8回国際交流委員会留学生部会
第3回国際交流会館運営委員会
- 21日 第4回教養教育委員会実施専門委員会
事務組織改善検討委員会学生部会
学務関係担当者会議
- 22日 第6回自己点検評価委員会教育活動専門委員
会
SCS事業連絡協議会(メディア教育開発セ
ンター)
- 24日 第3回自己点検評価委員会研究活動等専門委
員会
第7回自己点検評価委員会管理運営専門委員
会
学位記(博士)授与式

人 文 学 部

- 12月1日 教授会
教授会(人事)
- 8日 学部自己点検評価委員会
学部将来計画委員会
- 9日 学部図書委員会
- 10日 学部将来計画委員会
- 15日 学部教務委員会
- 17日 学部学生生活委員会・就職指導委員会
学部国際交流委員会
- 21日 学部広報委員会
- 22日 教授会
教授会(人事)
研究科委員会

教 育 学 部

- 12月1日 学部入学試験委員会
研究科委員会小委員会
附属養護学校避難訓練
- 4~5日 教員養成大学教官等研究集会(福島大学)
- 6日 学部紀要編集委員会
- 7日 学部教務委員会
平成12年度附属幼稚園入園児発育検査(3歳)

見)

平成12年度附属養護学校入学者発育検査

8日 研究科委員会

教授会

人事教授会

平成12年度附属幼稚園入園児発育検査(4歳見)

附属養護学校合格者発表

9日 附属幼稚園発育検査合格者発表

10日 附属幼稚園入園児第2次選考(抽選)

15日 交通安全講習会

学部将来計画委員会

18日 附属幼稚園第2学期終業式

20日 消防訓練

附属中学校及び附属養護学校第2学期終業式

22日 富山県教育委員会と富山大学教育学部との連絡協議会(大会議室)

附属小学校第2学期終業式

24日 学部学生生活委員会

経済学部

12月1日 人事教授会

研究科委員会

教授会

夜間主コース学生対象就職ガイダンス

7日 就職ガイダンス

学部教務委員会

8日 教授会

13日 学部教務委員会

15日 学部学生生活委員会(持ち回り)

人事教授会

教授会

16日 公務員試験対策ガイダンス

20日 教授会運営合理化検討委員会

21日 学部国際交流委員会

学部教務委員会

22日 人事教授会

教授会

28日 将来構想等検討委員会

理学部

12月1日 理工学研究科博士前期課程理学部会

教授会

人事教授会

6日 学部施設委員会, 学部将来計画委員会の合同委員会

8日 学部教務委員会

学部学生生活委員会

13日 学部情報化対策委員会

15日 学科長会議, 学部将来計画委員会との合同委員会

理工学研究科博士後期課程部会専攻長会議

17日 学部入試改善委員会

22日 学科長会議, 学部将来計画委員会との合同委員会

工学部

12月1日 教授会

専任教授会

自己点検評価に係る検討委員会

3日 学部教務委員会

6日 将来計画に係る検討委員会

14日 学部教務委員会

15日 教授会

専任教授会

理工学研究科博士前期課程工学部会

工学研究科博士後期課程委員会

理工学研究科博士後期課程部会専攻長会議

20日 外国人留学生委員会

将来計画に係る検討委員会

21日 教授会

附属図書館

12月1~2日

ハーン総合コレクションデータベース作成委員会(島根大学附属図書館)

8~9日 国立大学図書館協議会(東地区)シンポジウム(横浜国立大学)

22日 第3回年史編纂委員会

地域共同研究センター

12月7日 特別講演会

演題 「国際競争の中で生き残るためのグローバルソーシング」

講師 北野 芳則 Y K K(株)副社長

10日 大学院生教育講座

27日 第7回運営委員会

生涯学習教育研究センター

12月16日 第1回公開講座専門委員会

資

料

学位（博士）授与者名簿（平成11年12月24日）

博士の専攻分野の名称	氏名	論文題名	授与年月日	備考
博士（工学）	吉本 隆志	一面冷却型熱衝撃実験法による超硬質工具材料の熱衝撃下のき裂進展特性に関する研究	平成11年3月31日	課程修了
博士（工学）	瀧田 朋広	結晶粒組織の制御によるモリブデンの強靱化に関する研究	平成11年12月24日	論文提出



▲ 悪天候の中、放水訓練（12月20日 教育学部）



▲ キャンパスから見た冬の立山連邦（12月28日 事務局屋上から）

恒例の「学長主催による外国人 研究者及び留学生等との懇談会」 大いに盛り上がる

(12月8日 名鉄トヤマホテル)



(左上) ロシア3人娘の歌
(左下) 教職員も参加しジェンカを踊る
(右上) 韓国舞踊を披露
(右中央) 時澤学長を囲み、「だんご三兄弟」を熱唱
(右下) マレーシア歌謡を披露

(関連記事を8ページに記載)

編集 富山大学庶務部庶務課 〒930-8555富山市五福3190 TEL. (076) 445-6007 FAX. (076) 445-6014
印刷所 あけぼの企画(株) 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL. (076) 424-1755 FAX. (076) 423-8899